

授業 No.

2-2

高校出張講義実施概要

氏名	亀田 貴雄
学科 コース (主担当)	地球環境工学科 環境防災工学コース
職名	教授
授業題目	雪氷学入門
授業内容	雪氷学 (せっぴょうがく) とは寒冷地の自然環境の特徴である雪と氷に関する学問です。北見工業大学地球環境工学科環境防災工学コースおよび社会インフラ工学コースでは 2 年生の科目として雪氷学 (担当: 亀田) が開講されています (1 回当たり 90 分 × 15 回)。ここでの授業は雪氷学の入門として、大学での雪氷学の講義で最も重要な点をわかりやすく説明します。具体的には、氷の性質、雪結晶の形、積雪の特徴、氷河・氷床、土の凍結 (凍土・凍上)、海の氷 (海氷)、雪氷防災 (雪崩、吹雪など)、宇宙の氷について説明をします。この授業を履修すると、北海道では身近な雪と氷についての基礎知識に加えて、氷河や氷床、宇宙の氷などについても知識が深まります。
簡単な実験を行う場合はその内容	
授業に使用する機材 (高校が用意するもの等)	プロジェクタ、プロジェクタと PC をつなぐケーブル、スクリーンを用意してください。PC と指示棒 (LED) は持参します。
備考	担当者の大学での講義や会議に関連して、実施可能な曜日を指定する場合がありますので、複数日を提案していただくと良い。講義時間は 90 分必要です。授業時にはパワーポイントを印刷したものを生徒さんに配布するので、その印刷をお願いします (白黒で OK)。

※実施時期は、概ね 7 月から 11 月の期間とします。